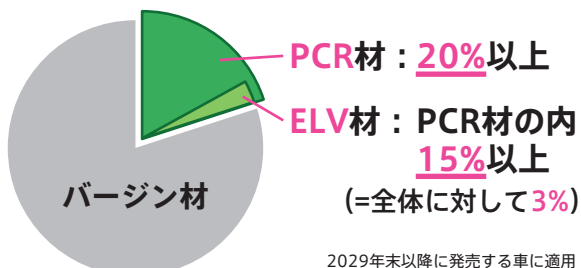


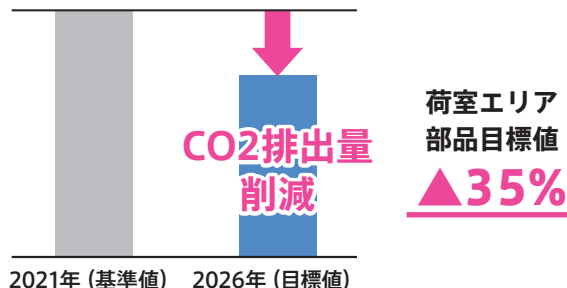
循環型社会に向けた自動車業界の環境対応

欧州ELV規制



2029年末以降に発売する車に適用

CO2排出量削減目標



欧州委員会はサーキュラーエコノミー（循環型経済）の一環として、新たな ELV 規制を導入します。それにより、2029 年以降の新車では、樹脂部品の 20% 以上に PCR*材を使用し、そのうち全体に対しての 3% 以上は ELV*由来材であることが求められます。

また、CO₂排出量に関して、国内カーメーカーの LCA 目標から、荷室エリアは 35% 削減を目標としており、再生材の活用や軽量化が重要となっています。

※PCR：Post Consumer Recycled：消費者に使用された後に回収・再生されたもの

※ELV：End-of-Life Vehicles：PCR の中でも自動車（廃車）由来のもの

PCR(ELV) 材活用デッキボード



TBM 製法※を用いたデッキボードは、表皮・基材・コア材・リンフォースの 4 要素で構成されています。従来は材料物性の制約からリサイクル材の使用が難しいとされてきましたが、材料選定や配合、成形条件の検証を重ねることで、表皮・基材・コア材に PCR 材および ELV 材の配合を実現しました。さらに、リンフォースにはグリーンアルミを採用し、荷室エリアの目標「CO₂排出量 35%削減」と欧州 ELV 規制「PCR 材 25%以上使用」両方を満たす製品開発を進めています。